



# あべこういち 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

予算規模(一般会計)  
**1兆9898億17百万円**  
(対前年度比、9.4%増)

## 新年度当初予算可決!



**千葉県稲毛区 選出の阿部統一(あべこういち)県議**は、県政与党の自民党内にあって、常に是々非々の立場から県政の推進に積極的な発言を行っています。2月定例県議会は、3月に知事選が控えていたことか

ら、例年より1か月近く早く開会し、3月2日に閉会しました。例年、2月議会は新年度予算案の審議が中心ですが、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化している中で、今年も感染症対策に多くの時間が費やされました。自民党の代表質問の中から、県民の命を守る視点に立つて、コロナ対策など主な質疑の模様をお知らせします。

### 医療供給体制の整備状況

**自民党代表** 医療供給体制等の確保について、発熱患者等に対応するための相談・診療・検査体制の整備と運用状況はどうか。また、今後どのように対応していくのか。  
**森田知事** 県では、医師会や医療機関との協力を得ながら、これまで多くの発熱患者に対応できるよう、相談・診療・検査体制の整備を図ってきました。本県において対応可能な医療機関数は、2月1日現在で目標数1100カ所を超過する1129カ所です。また、発熱患者等の検査については、行政検査の契約を結んでいる医療機関において同日現在、1日当たり1万8千5件の実施が可能です。今後、県民の皆様が発熱した時などに身近な医療機関で受診できるよう、相談・診療・検査体制の強化を図っていきます。

### 自宅療養者への対応

**自民党代表** ホテルや自宅で療養の方に適切なケアを行うため、どのように取り組んでいるのか。  
**森田知事** ホテル、自宅で療養する方には、保健師や看護師が電話等により、毎日健康状態の確認を行っています。また、感染拡大の状況を踏まえ、2月5日からスマートフォンアプリを活用した健康観察を開始することとしています。

また、高齢者や基礎疾患のある方など、重症化リスクが高い方については、肺機能の状態を迅速に確認できるように、保健所長等の判断で、血中酸素飽和度を測定するオキシメーターの貸し出しを行っています。

### ワクチン接種の準備

**自民党代表** 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、県はどのように進めていくのか。  
**森田知事** 県では、昨年開始したワクチン接種の準備体制を強化するため、先月12日に新型コロナウイルス感染症対策本部にワクチン接種体制整備

班を設置しました。まずは、医療従事者等への優先接種を実施するため、医療関係団体や市町村と連携し、接種施設を選定したところであり、国が示す3月中旬から接種が開始できるよう、対象者のリスト作成に取り組んでいます。今後は、市町村が実施する県民へのワクチン接種においても、広域的な視点からの助言や調整などを行うとともに、県民や医療機関等に対する専門的相談体制を構築し、県民が円滑にワクチン接種を受けられるよう、着実に準備してまいります。

### 対策 コロナ 中小企業支援に全力

**無利子融資枠を拡大**  
**自民党代表** 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、大きな影響を受けている中小企業に対して、どのように支援を行っていくのか。  
**森田知事** 新型コロナウイルスの影響が長期化することにより、県内の中小企業は大きな影響を受けているものと認識しています。県はこれまで、最大40万円を支給する中小企業再建支援の実質無利子・無担保の県制度融資についても、昨年末時点で約3万件、約5千4百億円の利用があり、多くの利用申込者が続いていることから、昨年12月までだった申込期限を本年3月末まで延長したほか、無利子となる融資枠を4千万円から6千万円に拡大したところ。

また、緊急事態宣言を受け、人の流れが抑制されることによる影響は幅広い業種に及ぶことから、国に対し、持続化給付金及び家賃支給給付金の再度の給付や、雇用調整助成金の特例措置の更なる延長について、要望しているところです。今後とも、地域経済の担い手である中小企業をしっかりと支援してまいります。

●県政や千葉県稲毛区のご相談、ご意見をお聞かせください

**あべこういち 県事務所**  
〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401  
TEL.043-287-8595 FAX.043-285-2192

阿部 統一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

# 新執行部には是々非々で!

## ~県民の視点に照らし合わせて~

### 当初予算の編成方針問う

#### 骨格予算で編成

自民党代表 骨格予算となる令和3年度当初予算は、どのような考えで編成したのか。

高橋副知事 令和3年度当初予算は、骨格予算として編成したことから、政策的な判断を要する新規事業や、新規に着手する基盤整備などについては計上されておりましたが、喫緊の課題については、一部新規事業も含め、しっかりと取り組めるよう編成しました。

●病床確保や臨時医療施設の整備、検査体制の充実、軽症者等のための宿泊施設の確保など、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、緊急の課題を踏まえ、児童相談所の定員超過の解消についてですが、できるだけ早く一時保護所を増設できるように取り組んできた結果、昨年12月までに4つの児童相談所で工事が完了し、今年度当初は115名だった定員が171名に増加しました。

●職員の更なる増員等による児童相談所の機能強化や里親数の増加を図る取り組みなど児童虐待防止対策の充実

●備蓄物資の確保、非常用発電設備の整備に対する助成など、近年多発する災害への備え

●緊急の課題を踏まえ、児童相談所の定員超過の解消についてですが、できるだけ早く一時保護所を増設できるように取り組んできた結果、昨年12月までに4つの児童相談所で工事が完了し、今年度当初は115名だった定員が171名に増加しました。

その結果、入所率も15.6%から本年1月1日時点で10.4%となり、児童の生活環境に一定の改善が図られています。

次に、児童相談所の虐待対応の充実強化を図るため、職員を計画的に増員するとともに、柏児童相談所については、令和3年度当初から分室を確保し、また、市川児童相談所については、令和3年度中に船橋支所を設置することとしており、

現在設計や工事を進めているところですが、さらに児童相談所の2カ所増設や、ICTを活用し、児童虐待防止に向けしっかりと取り組んでまいります。

た児童相談所支援システムの見直しを進めるなど、本県の児童虐待防止に向けしっかりと取り組んでまいります。

#### 高齢者施策の推進

自民党代表 今後、急速な高齢化の進展が見込まれる中で、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、県はどのように取り組んでいくのか。

高橋副知事 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が重要です。

そのためには、地域住民による日常生活の支援の促進や、在宅医療と介護を一体的・継続的に提供するなどの関係団体の連携強化、地域包括支援センターの人材育成などを推進することによって、地域包括ケアシステムの構築に取り組む市町村を支援してまいります。

今後は、市町村の取り組み状況などにより詳細に調査し、地域の実情を把握したうえで、アドバイザーを派遣するなど、より層支援を充実してまいります。

医療センターにおいて、円滑な日常を過ごすための生活相談支援を実施するなどの取り組み、かかりつけ医への研修、認知症サポーターがチームを組んで見守りや傾聴ボランティア活動を行う仕組みづくりなどに取り組んでいます。

また、今後、本人の意思や意向を尊重した支援を行っていくための市町村に対する研修の実施や、就労面で課題の多い若年性認知症の方の社会参加の推進等の取り組みを進め、認知症の方や家族の支援に努めてまいります。

自民党代表 認知症の方やその家族を支援するため、県はどのように取り組んでいくのか。

高橋副知事 認知症になっても、希望を持って住み慣れた地域の中で暮らし続けられるようにするために、周囲や地域の方々の更なる理解と協力を得ながら、支援を行っていくことが重要だと考えています。

県では、認知症の方や家族を支えるために、認知症疾患

をを進め、認知症の方や家族の支援に努めてまいります。

### 厳しい県立病院経営

自民党代表 県立病院の経営状況とその対応状況はどうか。

高橋副知事 県立病院では、平成26年度以降、赤字が続いたため、平成29年度に新改革プランを策定し、患者数の増加による収益確保や、医薬品の括購入などによる費用削減に努めてきました。

しかし、県立病院には、他の病院では対応できない重篤な患者を受け入れる必要な高度医療を提供するなどの役割があり、採算性や効率性になじまないという構造的な面で改善が進まなかったところです。

さらに今年度は、新型コロナウイルス感染症による

阿部紘一県議プロフィール	
◎ 経歴 ◎	
市川学園中学校卒業	(昭和34年3月)
同高等学校卒業	(同37年3月)
明治大学商学部卒業	(同41年3月)
◎ 議会経歴 ◎ (就任月)	
千葉市議会議員当選	(平成3年4月)
千葉県議会議員当選	(同7年4月)
県議会議員7期再選	(同31年4月)
商工労働社会常任委員長	(同11年5月)
健康福祉常任委員長	(同12年4月)
文教常任委員長	(同14年7月)
議会運営委員長	(同19年5月)
監査委員	(同22年6月)
県議会議長	(同26年7月)
◎ その他経歴 ◎ (就任月)	
自民党千葉市連合支部長	(平成18年9月)
同政務調査会長	(同23年6月)
議員会長	(同25年7月)
千葉県支部連合会副会長	(現在)

#### 学級編制基準を35人へ

自民党代表 小学校の学級編制基準を5年かけて35人に計画的に引き下げると国が決定したが、県としての対応はどうか。

澤川教育長 県教育委員会では、国の定数を活用して35人学級を小学校第1学年から第3学年、及び中学校第1学年で段階的に推進してまいりました。

このたび、国はいわゆる義務標準法を改正し、小学校第6学年までの学級規模を今後5年かけて35人に引き下げるとしています。

県教委では、国の法改正を見据え、35人学級の対象学年を段階的に広げていくよう、学級編制基準の見直しなど、必要な準備を進めてまいります。

政治姿勢は、森田県政の時と同様、是々非々の立場で臨ませさせていただきます。その判断基準は、県民(生活者)の視点に合致しているか否かであり、

今後とも、皆さまのご指導をお願い申し上げます。私の新執行部に対する

阿部紘一

皆さまにはお元気で過ごしていることと拝察申し上げます。現在、コロナ禍の中、日々の生活において不便を感じていらっしゃるかと思います。

先月17日からワクチン接種が始まりました。ワクチン接種はコロナ感染の収束を図り、皆さまの命と健康をお守りする切り札になります。

#### ごあいさつ

任された熊谷俊人氏には県民の幸せと県土発展のために尽くして頂きたいと思っております。私の新執行部に対する

阿部紘一